

# 施策分析シート（令和3年度）

No1

<b>施策名</b>	家庭教育の支援と地域教育力の向上	<b>施策No</b>	04-11	<b>部課名</b>	地域文化スポーツ部生涯学習課
<b>関連部課名</b>	教育委員会事務局教育総務課				
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	<b>II</b>	子育て教育都市		
	<b>政策</b>	<b>04</b>	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成		

**目的** 子どもたちが個性や能力を十分に発揮し、心豊かに成長するためには、学校・家庭・地域の連携が不可欠であり、区は、家庭教育への支援を継続するとともに、地域社会の発展を支える地域教育力の向上を図る。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		30年度	元年度	2年度	
①	親子コミュニケーションの充実度	4.02	4.04	—	親子の間でコミュニケーションがとれていると感じますか？
②	家族の理解・協力	4.10	4.12	—	あなたのご家族には、子育てに関する理解や協力があると感じますか？
③	地域の子育てへの理解・協力	3.40	3.52	—	お住まいの地域に、子育て家庭に対して理解し、協力する雰囲気があると感じますか？
④					

  

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		30年度	元年度	2年度	3年度見込み	目標値(8年度)	
①	家庭教育学級参加者数（PTA連携除く）（人）	208	272	50	145	500	2、3年度はコロナの影響により、集合による講座は減少している
②	PTA連携家庭教育学級実施回数（回）	8	6	0	3	10	
③	親育ち支援事業支援実績（実施団体数）	33	21	5	15	50	
④	地域教育力向上支援事業支援事業数（事業）	6(新4)(累計25)	7(新3)(累計28)	1(新0)(累計28)	7(新1)(累計29)	6(累計40)	補助期間が上限3年のため、定期的に補助対象事業の入れ替わりがある
⑤							

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	元年度	2年度	差額	元年度		2年度	差額		
行政費用	給与関係費	5,589	8,232	2,643	地方税等	0	0	0	
	物件費	37	107	70	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支支出金	1,571	368	▲1,203	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	3,216	487	▲2,729	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,571	368	▲1,203	
	賞与・退職給与引当金繰入額	315	1,319	1,004	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲7,586	▲9,777	▲2,191	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	9,157	10,145	988	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲7,586	▲9,777	▲2,191	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲7,586	▲9,777	▲2,191		

貸借対照表	勘定科目				勘定科目	勘定科目			
	元年度	2年度	差額	元年度		2年度	差額		
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	242	357	115	
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
固定資産	有形固定資産	0	0	0	賞与引当金	242	357	115	
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	
	建物	0	0	0	固定負債	1,879	3,302	1,423	
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	1,879	3,302	1,423	
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	2,121	3,659	1,538	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲2,121	▲3,659	▲1,538		
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	▲2,121	▲3,659	▲1,538		
資産の部合計	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0		

### 財務諸表に関する特徴的事項等

○例年、行政費用の多くを給与関係費と補助費等が占めている。補助費等は主に、講師並びに託児者への謝礼（報償費）と子育てに関する支援を行う地域活動団体への補助金によるものである。  
 ○2年度は新型コロナウイルスの影響により、講座の実施数及び地域活動団体への補助が大きく減少したため、補助費等が減少している。

## 施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○子ども達を取り巻く課題が複雑化・困難化する中、不安を抱える親達も多いことから、子どもの叱り方やほめ方、能力の伸ばし方等に関する専門家の講義や、区立小中学校PTAと連携した講座等を実施しているが、新型コロナウイルスの影響により集合による講座の実施数は減少しており、動画配信やWeb会議システムといったオンラインを活用した講座を実施している。</p> <p>○地域とのつながりが希薄化する中、子育て世代の交流や子育て支援するサポーター養成を目的とした地域子育て教室等を開催している。</p> <p>○親元を離れて共同生活をする「合宿通学」等、荒川区では地域をあげて子どもたちの教育を推進している。</p>
課題	<p>○新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、多くの区民が講座に参加できるよう、オンライン講座も踏まえた講座の実施方法を検討する必要がある。</p> <p>○関心の高いテーマ等は、定員をオーバーするなど偏りがあることから、希望者に少しでも情報が渡るよう、講義内容を動画で後日視聴できる手法や、講座での質疑応答の内容をホームページで公表する等、工夫する必要がある。</p> <p>○子どもの成長に伴い、地域行事やイベント等に参加する機会が少なくなる区民も多いことから、ライフステージに応じて、自分自身の経験を活かしながら、地域の子育て等に関わっていただけるような仕組みづくりを行い、地域教育力の向上を図る必要がある。</p> <p>○学校・家庭・地域が連携しながら、地域ぐるみで子どもを育てる気運を一層醸成し、支援体制の強化を図っていく必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○多くの保護者が家庭教育の基礎知識や必要性について正しい情報を取得できるよう、子育てに関する講座等の内容を充実していく。また、より多くの子育て世代が参加できるよう、集合講座や動画配信等それぞれの講座に適した方法で実施していく。</p> <p>○感染症対策を徹底しつつ、子育てサークルや子育て家庭と地域の交流事業等を実施する団体などへの支援を進めるとともに、託児ボランティアの養成や、多世代が参加し学び合う子育て講座等を開催することにより、地域教育力の向上を図る。</p> <p>○家庭教育支援や子育て支援を行う各課が、相互に情報共有や連携、役割分担を図りながら多岐にわたり支援を進めていく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
3年度	4年度	
重点的に推進	重点的に推進	家庭教育は、人格形成の基礎をつくる教育の機会であり、地域社会全体で取り組む必要性が高いことから、引き続き重点的に推進する。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		元年度	2年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
家庭教育の向上	05-02-03	8,455	9,959	2,722	594	重点的 に推進	重点的 に推進	家庭教育は全ての教育の出発点である。子どもへの基本的な生活習慣や他人への思いやりなどを身につける家庭教育支援事業の実施は重要であり、重点的に推進する。
合宿通学	13-01-15	701	186	532	0	推進	推進	学校・地域・行政が連携し、学校では学ぶことができない共同生活や地域活動を体験することによって、子どもの生きる力を培う事業であるため推進する。
合 計		9,156	10,145	3,254	594			